



気候変動と生物多様性に関する国際動向 ～気候変動COP27と生物多様性COP15～

国連大学サステナビリティ高等研究所 (UNU-IAS) リサーチフェロー、アカデミック・アソシエイト
ヒマンガナ・グプタ

世界の海、植物、動物、土壌は、過去 10 年間に人間活動によって排出された温室効果ガスの 54% を吸収してきた¹。気候変動をめぐる国際的な議論において、生態系を活かした気候変動適応 (EbA) と自然を基盤とした解決策 (NbS) を気候変動対策に組み込むことの重要性は、特にパリ協定の目標達成に向けてますます高まっている。

このようなアプローチには、自然や生態系の適切な管理とともに、保全と回復のための行動も含まれる。

2つのCOPにおける議論

2022 年に開催された 2 つの COP (国連気候変動枠組条約第 27 回締約国会議 (COP27)・国連生物多様性条約第 15 回締約国会議 (COP15)) においても、自然を基盤とした解決策に対する関心は高く、会場のパビリオンでは多くの議論が行われた。

COP27 ではネイチャーポジティブを主要テーマに掲げるパビリオンが設置され、生物多様性目標と気候変動目標の相互関係、持続可能な土地利用を通じたネイチャーポジティブ達成、気候変動対策としての自然保護、自然の力を活用した緩和策など重要な論点を取り上げられた。

COP15 のネイチャーポジティブパビリオンでは、保護区や保全地域、ネイチャーポジティブに向けた企業の説明責任、保護地域以外で生物多様性保全に資する地域 (OECMs) とグリーン経済の関係性、都市の NbS、気候変動と生物多様性、民間資金の動員に向けた自然・気候フレームワークの統合など様々な問題に焦点を当てた議論が行われた。

また、ネイチャーポジティブやネットゼロ達成に向けた公正な移行の確保については、非国家主体が声明を発表し、国際目標において気候変動アクションと SDGs 達成に資する 2030 年までのネイチャーポジティブの約束を組み込むこと、先住民と地域コミュニティの権利の尊重、損失の直接的な要因への取組、そして、適切な財源の確保へのコミットメントを含めることを求めた²。

統合的な解決に向けた国際社会の動き

国際会議における議論は、ネイチャーポジティブの実現に向けた重要な課題を浮き彫りにする。人々が自然の恩恵を持続的に享受するためには、生態系の転換、乱開発、生息地の分断、気候変動、持続不可能な生産と消費のパターン、有害な補助金など自然に悪影響を与えるものに対処する必要があることは明らかである。

こうした課題は分野横断的であり、効率的なアクションと資金の動員を通じて、より多くの相乗効果を得られるアプローチが必要である。こうしたアプローチは、COP27 と COP15 の主要な決定事項でも反映されている。

COP27 で採択された文書³ では、SDGs の達成に向けて、気候変動と生物多様性の損失という相互に関係した地球規模の危機に早急に取り組む必要性を強調し、効果的で持続可能な気候変動対策には、自然と生態系の保護、保全、回

※
1 Our climate's secret ally. WWF. (2022, November). Retrieved January 13, 2023, from https://www.panda.org/wwf_news/?6811966%2Fclimate-nature-secret-ally

2 Secure an equitable, nature positive, net zero emissions world - acted. naturepositive.org. (n.d.). Retrieved January 13, 2023, from <https://www.acted.org/wp-content/uploads/2021/09/call-to-action-060921.pdf>

3 Decision/CP.27 Sharm el-Sheikh implementation plan. UNFCCC. (2022, November 18). Retrieved January 13, 2023, from https://unfccc.int/sites/default/files/resource/cop27_auv_2_cover%2520decision.pdf



UNU-IAS は、COP 27 でパリ協定と SDGs のシナジー強化についてのイベントを主催 (写真: Nicholas Turner/ UNU-IAS)



COP15のネイチャーポジティブパビリオンでの普及啓発

復、持続的利用が極めて重要であることを指摘している。締約国は、対策による負の影響を最小限に抑えるための予防措置を確保しつつ、適応と緩和において自然を基盤とした解決策を推進することが奨励されている。

また、同じく COP27 で採択された「農業及び食料安全保障に係る気候行動の実施に関するシャルム・エル・シェイク共同作業⁴」では、適応、適応のコベネフィット、緩和において高いポテンシャルを持つアプローチの多くが、生態系の保全と回復、持続可能な農法への変換、食品ロスの削減を含む土地利用と食料システムと関係しており、生物多様性と生態系サービス、食料安全保障、SDGs と直接・間接的に大きなつながりがあると指摘されている。

COP15 では「昆明・モンテリオール生物多様性枠組⁵」において、2030 年までの 10 年間に緊急的に取り組むための 23 の行動ターゲットが設定された。ターゲット 8 では、気候変動と海洋酸性化が生物多様性に与える影響を最小化し、自然を基盤とした解決策や生態系を活用したアプローチを含む緩和、適応、防災・減災行動を通じてレジリエンスを高めると同時に、気候変動緩和に対する取組が生物多様性に及ぼす負の影響を最小化し、正の影響を向上させることが掲げられている。

さらに、ターゲット 19 e では、生物多様性と気候変動の 2 つの危機に対応する金融のコベネフィット及び相乗効果を最適化することが掲げられている。また、2030 年までに陸と海の 30% 以上の保全を目指す目標「30by30」も、気候変動の目標や SDGs の達成に不可欠なものである。

※

4 Joint work on implementation of climate action on agriculture and food security. UNFCCC. (2022, November 18). Retrieved January 13, 2023, from https://unfccc.int/sites/default/files/resource/cop27_auv_3ab_Koronivia.pdf

5 Kunming-Montreal Global biodiversity framework-Draft decision submitted by the President. Convention on Biological Diversity (CBD). (2022, December 18). Retrieved January 13, 2023, from <https://www.cbd.int/doc/c/e6d3/cd1d/daf663719a03902a9b116c34/cop-15-l-25-en.pdf>

気候変動や SDGs への取組の進捗は、国連機関によってすでに測定されているため、ネイチャーポジティブ実現に向けた取組の効果も、こうした既存の指標を統合的に活用することが期待される。

ネイチャーポジティブ達成に向けた SATOYAMA イニシアティブの貢献

UNU-IAS が事務局を務める SATOYAMA イニシアティブ国際パートナーシップ (IPSI) は、先住民を含む様々な非国家主体の参画のもと、実践的なネイチャーポジティブアクションの推進において重要な役割を果たしている。COP15 では、IPSI の活動や今後の優先分野に焦点を当てた複数のイベントを主催し、パートナーシップの活動と成果をまとめた「IPSI 10 年報告書 2010–2022⁶」を発表した。

こうした IPSI の成果や優良事例は、効果的な保全に向けて先住民や地域社会の参画が国際的にも促進される中、非常に有益な知見を提供するものである。また、SATOYAMA イニシアティブは、地域や先住民コミュニティの参画、権利の尊重の推進につながるネイチャーポジティブアクションが期待されている OECMs についても積極的に推進していく。

※

6 SATOYAMA イニシアティブ創設から 12 年間の活動成果をまとめた報告書を発表。UNU-IAS. (2022, December 22). Retrieved January 13, 2023, from <https://ias.unu.edu/jp/news/news/report-highlights-achievements-of-satoyama-initiative-in-first-12-years.html>



ヒマングナ・グプタ

専門は気候変動・生物多様性政策。2016 年～ 2019 年までインド環境・森林・気候変動省とともに、UNFCCC 事務局に提出するインド第 2 回および第 3 回隔年更新報告書を作成。生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォーム (IPBES) ネクサス評価報告書リードオーサー。